

バランスシートで見る 市の財政状況

市では、財政状況をより分かりやすく示すため、バランスシート（貸借対照表）作成などの企業会計的手法を導入しています。バランスシートの作成により、市がこれまで整備した学校・道路などの保有状況や、これらを整備するために借り入れた負債の状況などが把握できます。

左側には市が保有している『資産』、右側にはその資産を形成するために要した『負債』や『正味資産』が表示されています。

平成19年度 普通会計バランスシート（平成20年3月31日現在）

（単位：百万円）

借方		
項目	金額	対前年度増減
【資産の部】 (市が保有している資産)	751,814	5,504
1. 有形固定資産 (庁舎・学校・道路など)	706,484	4,184
(1)土地	381,464	6,838
(2)建物・構造物等	325,020	△2,654
2. 投資等 (投資その他の資産等)	18,644	△59
(1)投資及び出資金	2,592	11
(2)貸付金	867	△53
(3)基金	15,185	△17
3. 流動資産 (現金・預金・債権)	26,686	1,379
(1)現金・預金	20,998	1,152
(2)未収金	5,688	227
資産合計	751,814	5,504

貸方		
項目	金額	対前年度増減
【負債の部】 (市が負っている債務)	221,451	△1,496
1. 固定負債 (1年を超えて返済する額)	204,929	△1,999
(1)地方債	171,327	△1,793
(2)引当金 (うち退職給与引当金)	33,602	△206 (△206)
2. 流動負債 (1年以内に返済する額)	16,522	503
(1)地方債翌年度償還予定額	16,522	503
【正味資産の部】 (国・県からの補助金、一般財源等)	530,363	7,000
負債・正味資産合計	751,814	5,504

※資産の評価方法

- ・昭和44年度以降に取得した資産について、国の基準に基づく地方財政状況調査のデータを用いて計上しています。
- ・過去の実際の支出額を基礎とする取得原価主義を採用しています。
- ・有形固定資産のうち、土地以外の資産について、残存価額をゼロとする定額法により減価償却しています。

◇市の資産総額は7,518億円（普通会計ベース）

平成19年度のバランスシートでは、市の保有資産が約7,518億円、負債は約2,214億円で資産の29.4%、正味資産は約5,304億円で資産の70.6%を占めています。

資産の内訳では、庁舎・学校・道路などの有形固定資産が約7,065億円で資産の94.0%を占め、残りが基金・現金・未収金などで合計約453億円です。

負債の内訳では、市債が約1,878億円（固定負債に計上されている「地方債」と流動負債に計上されている「地方債翌年度償還予定額」の合計）で負債の84.8%を占めています。

◇資産は昨年度より55億円増加

平成18年度と比較すると、資産は約55億円増加、負債は約15億円減少、正味資産は約70億円増加しています。

資産のうち、有形固定資産を行政目的別にみると、衛生費が約43億円、土木費が約23億円、教育費が約2億円増加していますが、そのほかの総務費、民生費などについては、取得した資産が減価償却費よりも少なかったことなどで減少しています。

負債では、地方債が翌年度償還予定額を含め約13億円減少、退職給与引当金については約2億円減少しています。

◇中核市平均との比較（平成18年度ベース）

項目	相模原市	中核市平均(※)
正味資産割合	70.1%	65.9%
将来世代負担比率	31.7%	37.3%

※「中核市平均」は、バランスシートを公表している中核市32市の平均値

○正味資産割合（正味資産／資産）

資産に占める正味資産の割合で、企業でいう自己資本比率に相当。高いほど財政状況は健全といえます。

○将来世代負担比率（負債／有形固定資産）

将来世代により返済しなければならない負債の割合。低いほど財政状況は健全といえますが、世代間の負担の公平性も考慮する必要があります。